

ある数理職員の日



政策統括官付参事官（企画調整担当）付
雇用・賃金福祉統計室

栢 宏輝（平成31年入省）

簡単な業務紹介

雇用・賃金福祉統計室では、雇用や賃金に関する様々な統計の作成を担当しており、これらの統計の作成に必要な各種調査の企画から公表までの業務を行っています。特に、毎月勤労統計調査は、重要な統計として総務省が指定する「基幹統計」の作成を目的とした基幹統計調査であり、国民経済計算（GDP 統計）の作成などにも使われています。

私の主な仕事

私は、毎月勤労統計調査の集計や公表資料の作成、標本設計などが主な業務となります。

1日の流れ

10:00～12:00

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、職員には時差出勤やテレワークが求められています。私は基本的には10時出勤としていますが、毎月勤労統計調査の公表日は、公表時刻に合わせて8時30分に出勤しています。出勤後は、まず未読のメールを確認するとともに、今日の予定を班内にメールで共有します。その後、年に1度、小規模事業所の状況を調査する毎月勤労統計調査の特別調査について、公表資料の作成を進めました。

12:00～13:00

昼食は、地下1階にコンビニがあるので、そこで買ったお弁当を食堂で食べました。

13:00～14:00

公表資料を厚生労働省のHPやe-Stat（政府統計の総合窓口）（※1）に掲載するための登録作業を行いました。毎月勤労統計調査は基本的に月2回（速報・確報）公表を行っており、集計結果を無事に公表するための最後の大事なプロセスとなります。

14:00～16:00

毎月の公表資料の作成に使用しているWindowsバッチファイルやExcelファイルをより使いやすくするため改修しました。Excel VBAなどのプログラムは業務効率化や手作業によるミス防止のため頻りに用いられており、必要に応じて適宜改修を行っています。

16:00～18:00

毎月勤労統計調査で数年に1度行うベンチマーク更新（※2）や基準時更新（※3）の時期が近づいているため、今後の作業の進め方などについて、上司にご相談しました。他の係とも連携しながら中長期的に進める作業であるため、作業内容を具体的に洗い出し、業務分担も含めて認識を共有しておくことが大事であるとアドバイスをいただきました。

18:00～18:45

今日中に済ませるべき案件が無いか再度確認。私の担当業務は自律的な業務が多いため、急ぎの案件が無い場合は早めに帰宅するよう心がけています。



退庁

退庁後はまっすぐ自宅に帰り、テレビ（報道番組、バラエティ番組など）を見ながら夕食を食べます。

休日

疲れていると、寝ているだけで1日が過ぎていってしまいますが、もともとインドアなので、録画していたテレビ番組を見たり、インターネットを見たりして過ごしています。

（※1）「e-Stat（政府統計の総合窓口）」とは、総務省が整備しているWebサイトで、各省庁が実施している統計調査の結果などの情報を提供しています。

（※2）毎月勤労統計調査の結果作成には、産業・事業所規模別の労働者数を推計して使用していますが、この推計労働者数を実績に基づき更新する作業を「ベンチマーク更新」と言います。

（※3）毎月勤労統計調査では、基準年（現在は2015年）を100とした指数を作成していますが、5年に1回、基準年を変更する「基準時更新」を行います。